

2019年7月吉日

会員各位

一般社団法人和歌山県社会福祉士会
会長 玉置 薫

基礎研修Ⅰのご案内について

盛夏の候、みなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、日本社会福祉士会の生涯研修制度による基礎研修についてご案内します。この基礎研修は、社会福祉士として必要な基礎知識を学ぶための研修で、その後の専門研修の受講や認定社会福祉士資格を取得するために欠かせない研修となっています。社会福祉士の入門研修として基礎研修課程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを3年間かけて修了します。(期間延長は最長6年間まで認められています。)

1年目の基礎研修Ⅰは、社会福祉士としての自覚を促すとともに、実践の基礎となる価値・知識・技術について理解することを目的として、会の歴史や本研修制度、倫理綱領や共通基盤となる知識や技術について、自己学習・レポート・集合研修というかたちを通じて学びます。

つきましては、皆様のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

研修内容

1年間を通じての履修となります。

年2回の集合研修に参加と事前課題(レポート)を提出していただきます。

スケジュール

事前課題 ⇒ 第1回集合研修 ⇒ 中間課題 ⇒ 第2回集合研修

第1回集合研修 10月27日(日) 9:00 受付9:30~17:00 ビッグ愛(予定)

第2回集合研修 1月26日(日) 9:00 受付9:30~17:00 ビッグ愛(予定)

事前課題の内容・締め切りについては、別紙をご確認ください。

受講対象者・資格

すべての社会福祉士(会員・非会員)

ただし、申込締切日(9月27日)までに日本社会福祉士会へ入会手続きを行なっている方は会員扱いとします(手続き中を含む)

- ①2019年4月以降に入会された新会員
- ②旧生涯研修制度で共通研修課程修了申請をしていない会員
- ③もう一度基礎から勉強したい会員
- ④その他の社会福祉士

受講費

会員 20,000円 非会員 30,000円 【テキスト代込み】

テキスト

①『基礎研修テキスト 上・下巻・スーパービジョン』

参考図書

②『新・社会福祉援助の共通基盤第2版 上・下』社団法人日本社会福祉士会 編集

【①は必須テキストですので会で一括購入します。

②は希望者のみです。購入ご希望の方は別紙チラシで各自お申し込みください】

※受講料及びテキスト代は振込となります。振込金額、振込先、期日等は「受講決定通知書」と合わせて後日ご案内します。

※なお、受講料入金後に講座途中で受講を中止しても、返金はありません。

申し込み方法

「受講申込書」に必要事項を記入し、FAX または e-mail・郵送で事務局までお申し込みください。

申込締切：2019年（令和元年） 9月27日（金） 必着（E-Mail・FAX可）

問い合わせ・申し込み先

一般社団法人 和歌山県社会福祉士会事務局

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 和歌山ビッグ愛6階

TEL/FAX 073-499-4529

e-mail info@wacsw.com

送付先 FAX 073-499-4529

一般社団法人 和歌山県社会福祉士会

基礎研修Ⅰ 受講申込書

(ふりがな) 氏名	()
会員/非会員 <input type="checkbox"/> で囲んで下さい	会員 ・ 非会員 ・ 入会申込中
会員番号 (会員の場合)	
社会福祉士資格取得年と登録番号 ※非会員の方は社会福祉士登録証の北-を添付してください。	資格取得 平成 年 登録番号 第 号
自宅	(〒 -) 住所..... TEL..... FAX..... E-Mail @
勤務先名	
勤務先	(〒 -) 住所..... TEL..... FAX..... E-Mail @
備考 (連絡事項等)	

2019年度（令和元年度）一般社団法人和歌山県社会福祉士会 基礎研修Ⅰ【カリキュラム】

【ねらい】

社会福祉士としての自覚を促すとともに実践の基礎となる、価値・知識・技術について理解する

【到達点】

1. 専門職が職能団体をもつ意義を知る
2. 日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織と役割を知る
3. 生涯研修制度を知る
4. 社会福祉士共通基盤を知る
5. 実践現場における社会福祉士の専門性をふまえた役割を知る
6. 実践をふまえて社会福祉士が倫理綱領や行動規範をもつ意味を知る

【レポートについて】

提出×切 事前課題 10月17日（木）
中間課題 1月16日（木）

※提出がない場合は集合研修を受講することができません。

提出先 一般社団法人 和歌山県社会福祉士会 事務局
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 和歌山ビッグ愛6階
TEL&FAX 073-499-4529
E-mail info@wacsw.com

※原則として、各課題の提出期限は厳守していただくことを前提としますが、達成できなかった課題については、第2回集合研修受講後、12ヶ月以内に提出することができれば、和歌山県社会福祉士会生涯研修センターで合議の上、基礎研修Ⅰ修了を認める場合もあります。

【研修内容】

1. 事前課題 <提出×切 10月17日（木）>

《ねらい》専門職としての実践のありかたや研修を受ける意義を知る

テーマ	内容	レポート
①社会福祉士の役割を考える	『生涯研修手帳』を読み、社会福祉士としての専門性について考え、「生涯研修制度を通じてどのように研鑽をすすめるか」をまとめる	1200字レポート
②社会福祉士としての専門性について考える	『倫理綱領・行動規範』を声に出して読み、「社会福祉士として大切にしたいこと」をまとめる	800字レポート

注)『生涯研修手帳』は日本社会福祉士会研修センター発行を参照してください。『倫理綱領・行動規範』は日本社会福祉士会ホームページを参照してください。入会手続中の方で、お手元がない場合は事務局にご相談ください。

2. 第1回集合研修

科目「社会福祉士のあゆみ」「日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織」
「生涯研修制度」

日程：10月27日(日) 9:30~17:00(受付9:00~) 会場：ビッグ愛(予定)

3. 中間課題 <提出〆切日 1月16日(木)>

テーマ	ねらい	内容	レポート
①社会福祉士に共通する専門性の理解	社会福祉士の共通基盤について理解し、どの分野や立場において必要な専門職の力量について理解する	『基礎研修テキスト』上巻の「社会福祉士に共通する専門性の理解」を読み、なぜ社会福祉士にとって共通基盤が必要か、日頃の実践を振り返りながらまとめる	1200字程度
②所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ	自らの現状と課題および所属組織における現状と課題について学び、今後の方向性を考察する	所属先におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を先輩社会福祉士から話を聞いて考察し、自らの現状と課題及び組織における現状と課題についてまとめる。	1200字程度 注) 組織に属していない、または所属組織に社会福祉士がいないため作成が困難な場合は課題③の課題を3本とします。
③所属先以外のソーシャルワーク実践について学ぶ	所属組織とは異なる領域におけるソーシャルワーク実践の現状と課題について学ぶ	他領域で活躍する先輩社会福祉士から話を聞き、他領域の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察しまとめる	合計2400字程度 (領域は2カ所以上としそれぞれを1200字程度でまとめる) 注) ②の課題が提出できない場合は③の課題を3本とします
④倫理綱領・行動規範の理解	倫理綱領と行動規範のつながり、社会福祉士が行動規範を持つ意味を知り実践に役立てる	日頃の実践を振り返り、「社会福祉士行動規範」と照らし合わせ、2つの項目を取り上げ自分の実践について考察する	合計2400字程度 (1項目につき1200字程度×2項目)

4. 第2回集合研修

科目「社会福祉士に共通する専門性の理解」「倫理綱領・行動規範の理解」
「社会福祉士の倫理綱領の実践適用」

日程：1月26日(日) 9:30~17:00(受付9:00~) 会場：ビッグ愛(予定)

☆集合研修時にご持参いただくもの 受講証・筆記用具・昼食